

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東

コード番号 2206 URL https://www.glico.com/jp/

代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)江崎勝久

配当支払開始予定日 – 決算補足説明資料作成の有無:有 決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上		営業	利益	経常	利益	親会社株主 四半期	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	264, 736	9.8	9, 020	△28.8	10, 869	△29. 1	7, 268	△11.5
2024年12月期第3四半期	241, 170	△2. 2	12, 670	△20. 4	15, 328	△14.8	8, 216	△36.8

(注)包括利益 2025年12月期第3四半期 5,779百万円 (△44.9%) 2024年12月期第3四半期 10,489百万円 (△59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	114. 18	_
2024年12月期第3四半期	129. 18	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	373, 490	272, 581	72. 8
2024年12月期	377, 771	272, 598	72. 0

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 271,984百万円 2024年12月期 272,005百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭			
2024年12月期	_	45. 00	_	45. 00	90. 00			
2025年12月期	_	45. 00	_					
2025年12月期 (予想)				50.00	95. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株芸		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	364, 000	9.9	11, 000	△0.6	13, 500	1. 1	8, 000	△1.4	125. 66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更:有

新規 1社 (社名) Glico Europe B.V.、除外 一社 (社名) 一

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年12月期3Q	68, 468, 569株	2024年12月期	68, 468, 569株
2025年12月期3Q	4, 806, 577株	2024年12月期	4, 803, 666株
2025年12月期3Q	63, 663, 319株	2024年12月期3Q	63, 603, 949株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー:有(任意)
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	. 2
(1)当四半期の経営成績の概況	. 2
(2)当四半期の財政状態の概況	. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	. 6
第3四半期連結累計期間	. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	
(会計方針の変更に関する注記)	
(セグメント情報等の注記)	ç
※参考資料 2025年12月期 第3四半期決算短信補足説明資料····································	• 11

[期中レビュー報告書]

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年1月1日~2025年9月30日)における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、先行きについては、米国の通商政策による影響や物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ等により、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義(パーパス)である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の 実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究 投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、食品原料事業で前年同期を下回ったものの、前年にチルド商品出荷停止の影響を大きく受けた乳業事業及び国内その他事業並びに海外事業等で前年同期を上回ったため、当第3四半期連結累計期間の売上高は264,736百万円となり、前年同期(241,170百万円)に比べ9.8%の増収となりました。

利益面につきましては、売上原価率が主に乳業事業及び海外事業における米国で上昇したこと等により前年同期に比べ1.7ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、運送費及び保管費、販売促進費等が増加しました。

その結果、営業利益は9,020百万円となり、前年同期(12,670百万円)に比べ3,649百万円の減益となりました。経常利益は、営業利益段階における減益等により10,869百万円となり、前年同期(15,328百万円)に比べ4,459百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,268百万円となり、前年同期(8,216百万円)に比べ947百万円の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(単位:百万円、%)

	売上高				営業利益			
セグメント	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期	対前年同期	前第3四半期	当第3四半期	対前年同期	対前年同期
	連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率(%)	連結累計期間	連結累計期間	増減額	増減率(%)
健康・食品事業	36, 837	36, 936	98	0.3	1, 508	△327	△1,836	_
乳業事業	41, 912	50, 287	8, 374	20.0	△3, 095	△4, 682	△1,587	_
栄養菓子事業	43, 325	44, 266	941	2. 2	3, 387	2, 275	△1,112	△32.8
食品原料事業	10, 340	9, 926	△414	△4.0	1, 594	1, 671	77	4.8
国内その他事業	49, 881	58, 503	8, 621	17. 3	292	841	548	187. 4
海外事業	58, 871	64, 815	5, 944	10. 1	6, 668	7, 232	564	8. 5
調整	_	_	_	_	2, 314	2, 010	△303	△13. 1
合計	241, 170	264, 736	23, 565	9.8	12, 670	9, 020	△3, 649	△28.8

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<健康・食品事業>

売上面では、"パピコ" "アイスの実"等が前年同期を下回りましたが、"アーモンド効果"等は前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は36,936百万円となり、前年同期(36,837百万円)に比べ0.3%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業損失は327百万円となり、前年同期(1,508百万円)に比べ 1,836百万円の減益となりました。

<乳業事業>

売上面では、"パナップ"等が前年同期を下回りましたが、"カフェオーレ""プッチンプリン"等は前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,287百万円となり、前年同期(41,912百万円)に比べ20.0%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業損失は4,682百万円となり、前年同期(営業損失3,095百万円) に比べ1,587百万円の減益となりました。

<栄養菓子事業>

売上面では、"カプリコ" "神戸ローストショコラ"等が前年同期を下回りましたが、"とろ~りクリーム on" "100%果汁飲料"等は前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は44,266百万円となり、前年同期(43,325百万円)に比べ2.2%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は2,275百万円となり、前年同期(3,387百万円)に比べ1,112百万円の減益となりました。

<食品原料事業>

売上面では、「小麦たん白」等が前年同期を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,926百万円となり、前年同期(10,340百万円)に比べ4.0%の減収となりました。

利益面では、売上原価率の低下等により、営業利益は1,671百万円となり、前年同期(1,594百万円)に比べ77 百万円の増益となりました。

<国内その他事業>

売上面では、前連結会計年度において株式会社Greenspoonを連結子会社化したことによる売上高純増のほか、キリンビバレッジ株式会社の受託販売及び卸売販売子会社の売上高等が前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は58,503百万円となり、前年同期(49,881百万円)に比べ17.3%の増収となりました

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は841百万円となり、前年同期(292百万円)に 比べ548百万円の増益となりました。

<海外事業>

売上面では、地域別において、中国等で前年同期を上回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,815百万円となり、前年同期(58,871百万円)に比べ10.1%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は7,232百万円となり、前年同期(6,668百万円)に比べ564百万円の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は373,490百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,280百万円減少しました。流動資産は160,996百万円となり、4,427百万円減少しました。主な要因は、原材料及び貯蔵品等が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。固定資産は212,494百万円となり、147百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具等が減少しましたが、投資有価証券等が増加したことによるものであります。

負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は100,909百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,263百万円減少しました。主な要因は、未払費用の減少等によるものであります。

純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は272,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金等が増加しましたが、為替換算調整勘定等が減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は72.8%(前連結会計年度末比0.8ポイント上昇)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米国による追加関税措置により、特に米国拠点において製品をASEAN並びに日本から輸入していることからコストアップの影響はあるものの、業績予想につきましては2025年8月6日公表の予想数値から変更はありません。今後、適時開示が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	(2)	-4-		_	_	_	`
- (単	11	•	_	万	щ.	1

		(単位:白万円)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	60, 243	55, 168
受取手形及び売掛金	49, 973	44, 397
商品及び製品	20, 516	23, 990
仕掛品	1, 173	1, 554
原材料及び貯蔵品	19, 720	26, 323
その他	13, 898	9, 706
貸倒引当金	△100	△144
流動資産合計	165, 424	160, 996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42, 929	41, 345
機械装置及び運搬具(純額)	40, 471	37, 178
工具、器具及び備品(純額)	6, 477	6, 255
土地	16, 597	16, 500
リース資産 (純額)	2, 522	2, 202
建設仮勘定	2, 848	2, 683
有形固定資産合計	111, 846	106, 165
無形固定資産		
ソフトウエア	26, 175	24, 019
ソフトウエア仮勘定	2, 098	634
のれん	1,767	1, 435
その他	512	436
無形固定資産合計	30, 553	26, 526
投資その他の資産		
投資有価証券	46, 694	54, 490
退職給付に係る資産	7, 273	7, 376
投資不動産(純額)	12, 224	12, 205
その他	3, 791	5, 773
貸倒引当金	△37	△44
投資その他の資産合計	69, 946	79, 801
固定資産合計	212, 347	212, 494
資産合計	377, 771	373, 490

(単位:百万円)

		(平位:日次11)
	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38, 680	36, 154
短期借入金	10	2,802
未払費用	26, 926	21, 623
未払法人税等	1, 113	2, 374
返金負債	7, 597	8, 717
役員賞与引当金	86	_
システム障害対応費用引当金	834	355
その他	11, 364	10, 028
流動負債合計	86, 612	82, 055
固定負債		
長期借入金	155	155
退職給付に係る負債	1, 289	1, 372
繰延税金負債	10, 438	10, 966
その他	6, 676	6, 359
固定負債合計	18, 560	18, 854
負債合計	105, 173	100, 909
純資産の部		· ·
株主資本		
資本金	7, 773	7, 773
資本剰余金	7, 230	7, 230
利益剰余金	228, 938	230, 439
自己株式	△13, 598	△13, 602
株主資本合計	230, 343	231, 841
その他の包括利益累計額		210, 110
その他有価証券評価差額金	15, 203	17, 503
繰延ヘッジ損益	392	75
為替換算調整勘定	24, 307	21, 167
退職給付に係る調整累計額	1, 757	1, 395
その他の包括利益累計額合計	41, 661	40, 142
非支配株主持分	593	596
純資産合計	272, 598	272, 581
負債純資産合計	377, 771	373, 490
只识刑员住行计	311,111	373, 490

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 (第3四半期連結累計期間)

		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	241, 170	264, 73
売上原価	146, 053	164, 86
売上総利益	95, 116	99, 86
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	19, 773	22, 32
販売促進費	7, 518	9, 46
広告宣伝費	10, 134	10, 95
給料及び手当	16, 320	17, 44
退職給付費用	132	Δ
その他	28, 566	30, 67
販売費及び一般管理費合計	82, 446	90, 84
営業利益	12, 670	9, 02
営業外収益		
受取利息	650	54
受取配当金	386	43
為替差益	320	
持分法による投資利益	695	7
補助金収入	497	70
不動産賃貸料	483	50
その他	778	8
営業外収益合計	3, 812	3, 8
営業外費用		-,-
支払利息	58	
寄付金	172	39
為替差損		8
投資事業組合運用損	120	1:
固定資産除却損	218	1:
固定資産廃棄損	33	
その他	550	3.
営業外費用合計	1, 154	1, 9
圣常利益	15, 328	10, 8
特別利益	10, 020	10, 0
持分変動利益	_	1
投資有価証券売却益	1, 129	1
段階取得に係る差益	1, 563	
特別利益合計	2, 692	2
特別損失	2,092	20
事業構造改善費用		3'
投資有価証券評価損	269	3
システム障害対応費用	6, 288	
特別損失合計		3
	6,557	
党金等調整前四半期純利益 + 上級 - 住民税みび東業税	11, 463	10, 75
去人税、住民税及び事業税	3,757	3, 70
去人税等調整額	△557	△2
去人税等合計	3, 200	3, 4
9半期純利益	8, 263	7, 3
(内訳)		
現会社株主に帰属する四半期純利益	8, 216	7, 2
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	

(単位:百万円)

		(1 = 1 = 7717)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,046	2, 300
繰延へッジ損益	△550	△316
為替換算調整勘定	1,820	△2,966
退職給付に係る調整額	△250	△361
持分法適用会社に対する持分相当額	160	△180
その他の包括利益合計	2, 225	△1,524
四半期包括利益	10, 489	5, 779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10, 448	5, 750
非支配株主に係る四半期包括利益	40	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

第2四半期連結会計期間において、Glico Europe B. V. を新たに設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) 当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

減価償却費 12,011百万円 14,557百万円

※のれんの償却額については重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自2024年1月1日至2024年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						四半期連結損		
	健康· 食品 事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	計	調整額 (注) 1	益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
売上高									
顧客との契約から生じる収益 その他の収益	36, 837 —	41, 912	43, 325	10, 340	49, 881	58, 871 —	241, 170	_	241, 170 _
外部顧客への売上高	36, 837	41, 912	43, 325	10, 340	49, 881	58, 871	241, 170	_	241, 170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	237	9, 770	_	10, 008	△10, 008	_
計	36, 837	41, 912	43, 325	10, 578	59, 652	58, 871	251, 178	△10,008	241, 170
セグメント利益又は損 失(△)	1, 508	△3, 095	3, 387	1, 594	292	6, 668	10, 356	2, 314	12, 670

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,314百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,370百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等944百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社Greenspoonを連結の範囲に含めたことにより、「国内その他事業」において、のれんが1,771百万円発生しております。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2025年1月1日 至2025年9月30日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

+n ++ 1 , 1									
	報告セグメント						四半期連結損		
	健康・食品事業	乳業 事業	栄養 菓子 事業	食品 原料 事業	国内 その他 事業	海外 事業	≣ 	調整額 (注) 1	益及び包括利 益計算書計上 額(注)2
売上高									
顧客との契約から生 じる収益 その他の収益	36, 936 _	50, 287 —	44, 266	9, 926	58, 503 —	64, 815 —	264, 736	_	264, 736
外部顧客への売上高	36, 936	50, 287	44, 266	9, 926	58, 503	64, 815	264, 736		264, 736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	230	5, 932	_	6, 163	△6, 163	_
計	36, 936	50, 287	44, 266	10, 156	64, 436	64, 815	270, 899	△6, 163	264, 736
セグメント利益又は損 失(△)	△327	△4, 682	2, 275	1, 671	841	7, 232	7, 010	2, 010	9, 020

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額2,010百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,374百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等635百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
 - 2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

決算短信補足説明資料 -25年12月期 第3四半期決算-

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1) 売上高・利益の概況

単位:百万円

	24/12期	25/12期	前年同期比	
	(1月-9月)	(1月-9月)	金額	増減率(%)
売上高	241, 170	264, 736	23, 565	9.8
営業利益	12, 670	9, 020	△3, 649	△28.8
経常利益	15, 328	10, 869	△4, 459	△29. 1
当期純利益	8, 216	7, 268	△947	△11.5

(2)営業利益の状況

単位:百万円

	24/1	2期	25/12期		
	(1月-9月)	売上比(%)	(1月-9月)	売上比(%)	
売上高	241, 170	100. 0	264, 736	100.0	
売上原価	146, 053	60. 6	164, 867	62. 3	
売上総利益	95, 116	39. 4	99, 868	37. 7	
運賃保管料	19, 773	8. 2	22, 324	8. 4	
販売促進費	7, 518	3. 1	9, 461	3. 6	
広告費	10, 134	4. 2	10, 959	4. 1	
人件費・厚生費	25, 307	10. 5	26, 871	10. 2	
経費・償却費	19, 712	8. 2	21, 231	8.0	
販売費及び一般管理費	82, 446	34. 2	90, 847	34. 3	
営業利益	12, 670	5. 3	9, 020	3. 4	

営業利益の増減要因	対24/12期	(1月-9月)
呂未刊無の培成安囚		内 国内
①売上高増減による増減益	10, 870	7, 316
②原材料価格変動による増減益	△11, 277	△8, 878
③原価のその他変動による増減益*	3, 226	3, 361
④運賃保管料比率変動による増減益	△618	△835
⑤販売促進費・広告費増減による増減益	△2, 768	△2, 944
⑥一般管理費増減による増減益	△3, 083	△2, 234
合 計	△3, 649	△4, 213

^{*} 販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3) セグメント別売上高の状況

単位:百万円

		24/12期	25/12期	前年同	司期比
		(1月-9月)	(1月-9月)	金額	増減率(%)
	健康	7, 470	11, 202	3, 731	50. 0
 健康・食品事業	アイスクリーム	19, 139	16, 548	△2, 591	△13.5
	その他	10, 227	9, 185	△1, 041	△10.2
	計	36, 837	36, 936	98	0. 3
	発酵乳	4, 189	6, 570	2, 380	56. 8
】 乳業事業	アイスクリーム	24, 704	24, 421	△282	Δ1.1
孔未争未 	その他	13, 018	19, 295	6, 276	48. 2
	計	41, 912	50, 287	8, 374	20. 0
	チョコレート	24, 640	23, 289	△1, 350	△5.5
栄養菓子事業	ビスケット	16, 749	17, 228	479	2. 9
不 发 未丁尹未 	その他	1, 935	3, 748	1, 812	93. 7
	計	43, 325	44, 266	941	2. 2
食品原料事業		10, 340	9, 926	△414	△4.0
国内その他事業		49, 881	58, 503	8, 621	17. 3
海外事業		58, 871	64, 815	5, 944	10. 1
合	計	241, 170	264, 736	23, 565	9.8

(4) セグメント別営業利益の状況

単位:百万円

	24/12期	25/12期	前年同期比	
	(1月-9月)	(1月-9月)	金額	増減率(%)
健康・食品事業	1, 508	△327	△1,836	_
乳業事業	△3, 095	△4, 682	△1,587	_
栄養菓子事業	3, 387	2, 275	Δ1, 112	△32.8
食品原料事業	1, 594	1, 671	77	4. 8
国内その他事業	292	841	548	187. 4
海外事業	6, 668	7, 232	564	8. 5
調整	2, 314	2, 010	△303	△13.1
合 計	12, 670	9, 020	△3, 649	△28.8

(5)海外事業-地域別の売上高、営業利益

*以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。 また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国 単位:百万元

	24/12期	25/12期	前年同期比	
	(1月-9月)	(1月-9月)	金額	増減率(%)
売上高	1, 335	1, 624	288	21.6
営業利益	176	256	79	45. 4

◆ASEAN 単位:百万米ドル

	24/12期	25/12期	前年同期比	
	(1月-9月)	(1月-9月)	金額	増減率(%)
売上高	97	97	Δ0	△0.9
営業利益	0	Δ1	Δ2	_

※24/12期(1-9月)の実績は、25/12期(1-9月)の平均レートで置き換えています。

◆米国単位:百万米ドル

	24/12期	25/12期	前年同期比	
	(1月-9月)	(1月-9月)	金額	増減率(%)
売上高	77	78	0	0.3
営業利益	21	17	Δ3	△18.4

※米国については、連結ベースの数字です。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年11月6日

江崎グリコ株式会社 取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

大 阪 事 務 所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 美和一馬

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 飛田 貴史

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている江崎グリコ株式会社の2025年1月1日から2025年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2025年7月1日から2025年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2025年1月1日から2025年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定(社会的影響度の高い事業体の財務諸表監査に適用される規定を含む。)に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正 妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の 省略が適用されている。)に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な 虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれ る。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結 財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、 職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手 続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度 の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準(ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。)に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査 人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の 結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見 事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合 又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社(四半期決算短信開示会社)が別途保管しております。
 - 2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。